

## [1] 開祭

2022年12月25日 主の降誕礼拝をはじめます。

しばらく間をおいてから入祭唱を唱（とな）えます。

入祭唱（詩編2:7）

神は、わたしに仰せになった。「おまえはわたしの子、きょうおまえを生んだ」

主✠イエス・キリストよ、おいでください。

弟子たちの中に立ち、復活のみ姿を現されたように、わたしたちのうちにもお臨みください。

### 懺悔と赦しの祈り

しばらく自らを省みた後で唱えます。

全能の神に告白します。わたしは、思い、ことば、行ない、怠りによってたびたび罪を犯しました。全能の神がわたしたちを憐れみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いてくださいますように。アーメン

### あわれみの賛歌 ♪（キリエ）

ひとりで礼拝しているときは、先唱だけを歌います。

先唱 キリエ・エレイソン

後唱 キリエ・エレイソン

先唱 クリステ・エレイソン

後唱 クリステ・エレイソン

先唱 キリエ・エレイソン

後唱 キリエ・エレイソン

### 栄光の賛歌 ♪（グロリア）

いと高きところには神に栄光、地にはみ心にかなう人びとに平和がありますように。全能の父、天の王、主なる神よ、主を拝み、主に感謝し、主の栄光をほめたたえます。父のひとり子、主イエス・キリスト、世の罪を除く神の子羊、主なる神よ、わたしたちに憐れみをお与えください。

父の右に座しておられる主よ、わたしたちの祈りを受け入れてください。

イエス・キリストよ、主のみ聖、主のみ王、主のみ聖霊とともに、父なる神の栄光のうち、最も高くおられます アーメン

集会祈願

永遠の神である父よ、あなたはひとり子イエスを世に遣わすにあたり、ガリラヤのおとめを選び、救い主の母となる使命をお与えになりました。わたしたちがマリアになり、愛と喜びをもって主を迎え入れ、主とともに生きる者となりますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に行き、支配しておられるみ子、わたしたちの主 † イエス・キリストによって。アーメン

## [2] ことばの典礼

最初に第一朗読 ○○記 ○章○節からといって読み始めます。本文の（ ）は聖書の接続詞、代名詞を補うためのことばですので、音読します。本文の冒頭の数字○○:○○は文章番号ですので読みません。

第一朗読 サムエル記 下 7:1-5、8b-12、14a、16

ダビデ王は王宮に住むようになり、主は周囲の敵をすべて退けて彼に安らぎをお与えになった。王は預言者ナタンに言った。「見なさい。わたしはレバノン杉の家に住んでいるが、神の箱は天幕を張った中に置いたままだ。」ナタンは王に言った。「心にあることは何でも実行なされるとよいでしょう。主はあなたと共におられます。」しかし、その夜、ナタンに臨んだ主の言葉は次のとおりであった。

「わたしの僕ダビデのもとに行って告げよ。主はこう言われる。あなたがわたしのために住むべき家を建てようというのか。わたしは牧場の羊の群れの後ろからあなたを取って、わたしの民イスラエルの指導者にした。あなたがどこに行こうとも、わたしは共にいて、あなたの行く手から敵をことごとく断ち、地上の大いなる者に並ぶ名声を与えよう。わたしの民イスラエルには一つの所を定め、彼らをそこに植え付ける。民はそこに住み着いて、もはや、おののくことはなく、昔のように不正を行う者に圧迫されることもない。わたしの民イスラエルの上に士師を立てたところからの敵をわたしがすべて退けて、あなたに安らぎを与える。主はあなたに告げる。主があなたのために家を興す。《あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。》あなたの家、あなたの王国は、あなたの行く手にとこしえに続き、あなたの王座はとこしえに堅く据えられる。」

朗読の終わりは次のように唱える。

第一朗読を終わります。

第二朗読 ○○○ ○章○節からといって読み始める。

第二朗読 ローマの信徒への手紙 16:25-27

[皆さん、] 神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、

あなたがたを強めることができになります。この福音は、世々にわたって隠されていた、秘められた計画を啓示するものです。その計画は今や現されて、永遠の神の命令のままに、預言者たちの書き物を通して、信仰による従順に導くため、すべての異邦人に知られるようになりました。この知恵ある唯一の神に、イエス・キリストを通して栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

朗読の終わりは次のように唱える。

第二朗読を終わります。

## 福音朗読

ルカによる福音 1 章 26 節以下に記された主イエス・キリストの福音。

利き腕の指を額・口・左肩・右肩の順番におく。

主に栄光。主に栄光がありますように。

天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

朗読の終わりは次のように唱える。

主に感謝。主に感謝します。

## 説教

説教は黙読でもかまいません。何人かで礼拝していれば、一人が音読します。

2022.12.25 主の降誕

## み心が成りますように

ルカによる福音 1:26-38

イエスの誕生の予告「受胎告知」が今日の聖書箇所です。ルカの福音書はこの事情を詳しく伝えています。

ヨセフと婚約中のマリアの元に天使ガブリエルが遣わされて神の子イエスを受胎すると告げます。マリアはとまどいこう答えました。

マリアは天使に言った。どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を  
知りませんのに。ルカ 1 : 34

しかし、ガブリエルはマリアの訴えに耳をかさしません。

神にできないことは何一つない。ルカ 1 : 37

マリアはこう答えます。

マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に**成りますように**  
**に。**」そこで、天使は去って行った。(新共同訳ルカ 1 : 38)

英語訳では同じ箇所、ルカ 1:38 はこのように訳されています。

Then Mary said, "Behold the maidservant of the Lord! **Let it be to me according to your word.**" And the angel departed from her. (New King James Version ルカ 1 : 38)

マリアさまの受胎告知の返事は日本語では「この身に成りますように」、英語では  
レット・イット・ビー となります。また聖書のことばとは別に「レット・イット・  
ビー」はビートルズの楽曲として世界中で親しまれています。

When I find myself in times of trouble	私が悩み苦しんでいるとき
Mother Mary comes to me	聖母マリアが私のもとを訪れ
Speaking words of wisdom	叡智の言葉を話してくれる
Let it be	「神のみ旨のままになりますように」

受胎告知のマリアさまの返事そのまま題名となっている「Let it be」は、「わたしが悩み苦しんでいるとき」不幸な出来事を前にして落ちこみ、苦しんでいる私たちによりそうように始まります。マリアは作詞者ポール・マッカートニーのおかあさんの名前だよと身もふたもないこという人もいますが、クリスチャンにとってマリアといえばただ一人聖母マリアです。

メリークリスマス。

-----

## 使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ（ここで礼をする）ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。

そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。† 聖なる共同の公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

## 共同祈願

いつくしみ深い神をたたえて祈りましょう。

- ・みことばに身をゆだねたマリアのように、わたしたちも心から神に信頼し、喜びのうちに救い主をむかえることができますように。
- ・争いと分裂に苦しむ世界のために祈ります。キリストの光が人々の心を照らし、ともに平和への道をあゆみ始めることができますように。
- ・苦難と試練の時を過ごしている人々に慰めと喜びをお与えください。神のおとばに支えられ、信頼と希望をもって歩むことができますように。
- ・（あなたに必要な祈りを追加してお祈りしてください）

命の源である父よ、あなたに信頼する民の祈りを聞き入れてください。み子キリストの到来によって開かれた救いの道を、多くの人とともに歩むことができますように。主の降誕を待ちわびる民の祈りを聞き入れてください。みことばによって生かされるわたし達が、主の食卓を囲む喜びを豊かに分かち合うことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン

## [3] 感謝の典礼（にうつります）

- ・聖餐をおこなわない場合は以下を省略して[4]の「主の祈り」をおこなう。
- ・聖餐のパンとぶどう酒は、ここでテーブルのうえにおく。しばらく黙想する。

## 叙唱

聖なる父、全能永遠の神、いつでも主・キリストによって賛美と感謝をささげる

ことは、まことにとうといたいせつな務め（です）。主キリストをすべての預言者は前もって語り、おとめマリアはいつくしみをこめて養い育て、洗礼者ヨハネはその到来を告げ知らせました。キリストはいま、その誕生の神秘を祝う喜びをお与えになり、わたしたちは絶えず目ざめて祈り、賛美しながら主を喜び迎えます。神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりにほめ歌います。

### 感謝の賛歌 ♪（サンクトゥス）

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神 主の栄光は天地に満つ い  
と高きところにホサナ

ほめたたえよ 主のみ名によって こられる方を いと高きところにホサナ

### 奉献文

天の父よ、救い主、み子イエス・キリストによってわたしたちの感謝・賛美をお受けください。わたしたちはみ子の模範にならい、そのみ定めに従ってこの式典を行います。どうかみ言葉と聖霊により、主の賜物であるこのパンとぶどう酒を祝し、聖として、わたしたちのために主イエス・キリストの†尊い体と血にしてください。

以下は黙読する。二人以上で礼拝している時は一人が音読する。

主は渡される夜、パンを取り、感謝してこれを裂き、弟子たちに与えて仰せになりました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与えるわたしの体です。わたしを記念するためにこのように行いなさい」

☆合掌して深く礼をする。すこし間をおく。

また食事ののち、杯を取り、感謝して彼らに与えて仰せになりました。「皆、この杯から飲みなさい。これは罪の赦しを得させるようにと、あなたがたおよび多くの人のために流すわたしの新しい契約の血です。飲むたびにわたしの記念としてこのように行いなさい」

☆合掌して深く礼をする。すこし間をおいて歌う。

♪ キリストは死に /キリストはよみがえり /キリストは再び来られます

### 記念唱

以下は途中まで黙読し、黒文字の部分から音読する。これも二人以上で礼拝している時は一人がグレーの部分も音読する。

わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、ここであなたに奉仕できることを感謝し、いのちのパンと救いの杯をささげます。キリストの体と血とともにあずかるわたしたちが、聖霊によって一つに結ばれますように。世界に広がるあなたの教

会を思い起こし、全教会を愛の完成に導いてください。

復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟とすべての死者を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。なお、わたしたちをあわれみ、永遠のいのちにあずかせてください。み子イエス・キリストを通してあなたをほめたたえることができますように。

キリストによって キリストとともに † キリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに。

(ここから音読)

わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めまた思うところの一切を、はるかに超えてかなえてくださることができる方に、教会により、またキリスト・イエスによって、栄光が世々に限りなくありますように。アーメン

#### [4] 交わりの儀式

##### 主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。み国が来ますように。

みこころが天に行なわれるとおり地にも行なわれますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

† 国と力と栄光は、限りなくあなたのものです。アーメン

☆ここでパンを裂くときは次のようにいう。

わたしたちがパンを裂くとき

キリストの体にあずかります。

パンが一つであるから

わたしたちは多くいてもひとつの体です。

##### 拝領唱 (イザヤ7:14)

以下は黙読する。二人以上で礼拝している時は一人が音読する。

見よ、おとめが身ごもって男の子を生む。その方の名はインマヌエルと呼ばれる。

##### 平和の賛歌 ♪ (アニュス・デイ)

世の罪を除く神の小羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の小羊よ、主の平安をお与えください

##### 拝領

テーブルまたは祭壇に近づき、ひざまづく。

(沈黙のまま祈る) 「キリストの体が永遠のいのちの糧になりますように。」

十字を切り、アーメンと唱えてパンを頂く。

(沈黙のまま祈る) 「キリストの血が永遠のいのちの糧になりますように。」

十字を切り、アーメンと唱えてぶどう酒を頂く。

拝領後は着席し、沈黙のうちにしばらく祈る。

拝領祈願

すべての人に愛を注がれる神よ、この集いから派遣されていくわたしたちを聖霊で満たしてください。主の降誕を心から祝うわたしたちが、多くの人と喜びを分かち合うことができますように。

わたしたちの主 † イエス・キリストによって。アーメン

[5] 閉祭

祝祷 黙読でも音読でもかまいません。

† 父と子と聖霊なる全能の神の恵みが、常にわたしたちとともにありますように。

アーメン

派遣の唱和

主の日の礼拝を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

主の平和がありますように。アーメン

これで礼拝は終わりです。しばらく黙想したのち、礼拝のために準備したものを片付けます。